

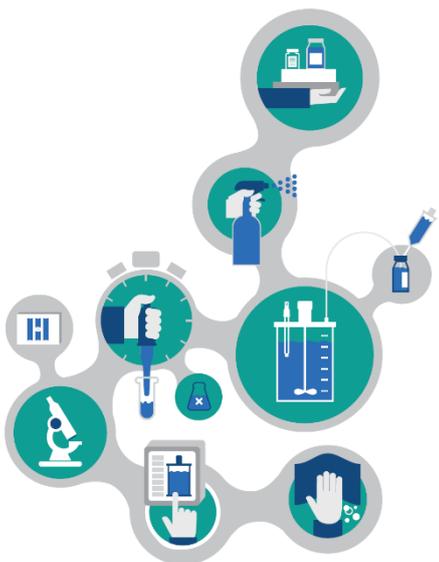
生細胞密度センサーによる インライン リアルタイムモニタリング

プロセス制御の限界

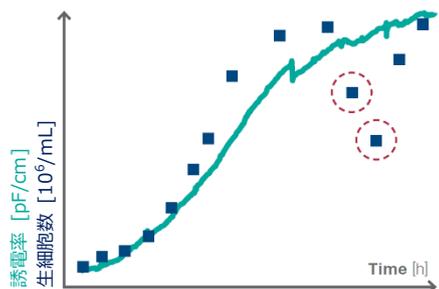
DO と pH はプロセス条件を監視しますが、細胞の状態には直接関係しません。



オフラインサンプリングは時間がかかり、測定結果は過去のデータになります。

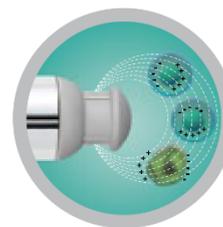


オフライン分析のエラーは誤った判断に繋がる可能性があります。

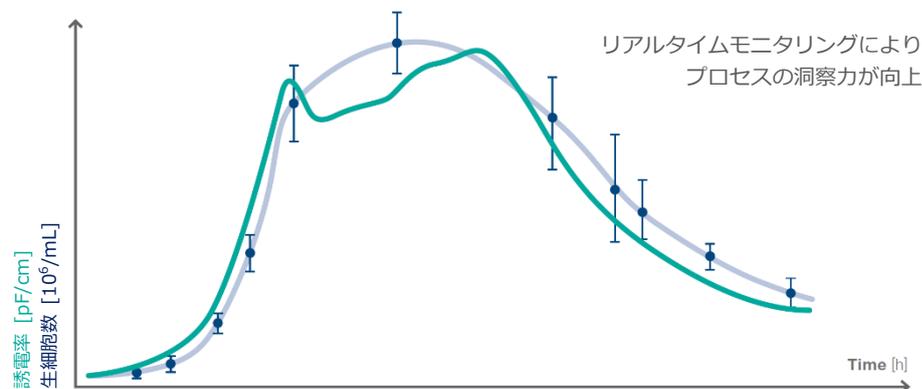


インライン 生細胞密度モニタリング

手分析を必要とせず継続的なデータを得られます。

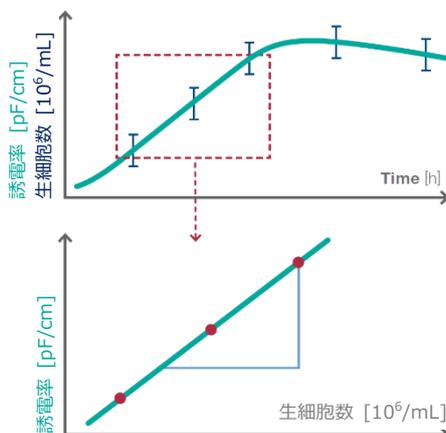


インサイトセンサー
誘電率に基づいて生細胞密度をオンラインで測定できます。



誘電率は次のものと 相関関係があります。

- 生細胞数
- 濁度/乾燥重量と湿重量



概要

生細胞密度のオンライン測定により、次のメリットが得られます。

- プロセスの洞察力の向上
- 作業の削減
- 汚染リスクの軽減
- エラーの現象
- プロセス逸脱の早期検出

